

# 都市再生整備計画(第2回変更)

たきがわみずべしゅうへん  
滝川水辺周辺地区

な ら かんまきちょう  
奈良県 上牧町

令和4年10月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	奈良県	市町村名	かんまきちやう 上牧町	地区名	たきがわみずべいゆうへん ちく 滝川水辺周辺地区	面積	150.6 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	令和 30 年度 ~ 令和 4 年度				

**目標**  
 本町には上牧久渡古墳群や片岡城跡等の歴史文化遺産や秩父池周辺等の豊かな自然環境が点在しており、水辺空間を利用した滝川周辺を整備することにより、これらの地域資源を繋いだルートを「かんまき笹ゆり回廊」と位置付け、歴史文化や自然環境を保全するとともに、上牧らしい新たな地域資源の形成を図る。また、滝川の水辺周辺地区を活用し、幅広い世代が交流できる場を創出することで、地域コミュニティの活性化を図り、地域で支え合い暮らしやすいまちづくりを目指す。  
 目標1：世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。  
 目標2：滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。  
 目標3：滝川周辺へのアクセス性の向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。

**目標設定の根拠**  
**まちづくりの経緯及び現況**  
 上牧町は奈良盆地の北西部に位置しており、東西に2.1km、南北に3.6km、面積は6.14km<sup>2</sup>で、北西は王寺町、北東は河合町、南東は広陵町、南西は香芝市に隣接している。コンパクトな町域のなかに、医療施設、商業施設、教育文化施設が揃っており、便利に暮らすことのできる環境が整っている。交通面では、大阪市の中心部から約35kmの距離にあり、西名阪自動車道の香芝ICが近接するなど自動車交通の利便性にも恵まれている。町内各地と王寺駅・五位堂駅を結ぶバス路線も運行されており、バスと電車を乗り継いで大阪の中心部まで約1時間の時間距離にあることから、このような立地特性を活かし、昭和40年代より西大和ニュータウンの開発が始まり、大阪都市圏のベッドタウンとして人口が急増し、住環境の充実と重点を置いたまちづくりを進めて発展してきた。  
 一方で、町人口は、昭和46年に人口増加率日本一を記録したが、平成17年の24,955人をピークに、約10年の間で約2,000人の減少に転じている。近年の本町の人口減少の要因は少子化などによる「自然減」及び転出超過による「社会減」であり、平成27年国勢調査の結果によると、平成22年から平成27年の人口は1,674人減となり減少率は7.1%となっている。また、65歳以上の人口比率は、33.3%となり高齢化問題も深刻化している。高齢化率については今後も上昇が予想され、昭和40年代にニュータウンに一斉に転入してきた世代の高齢化の進展、子どもの独立などで、独居の高齢者も増えており、少子高齢化は地域コミュニティの衰退を招き、高齢者の社会的孤立が問題となっている。  
 そこで、若者世代から高齢者まで幅広い世代の町民が絆でつながり、地域で支え合い暮らしやすい仕組みを整え、町民主体のまちづくりの推進を図る必要がある。地域のつながりの希薄化に歯止めをかけ、若年世代～シニア世代と多世代が様々な取組みを通じて交流しながら活躍する場と機会を創出し、町民の健康増進、地域コミュニティの活性化を図る。地域住民同士のコミュニティ形成を促進させるため、住民同士の交流の場として休憩などゆっくり過ごすことができる東屋やベンチなどを設置することが重要だと考えられる。  
 滝川周辺は野鳥や季節ごとの草木が観察でき、町民にとって身近な散歩道であり、歴史文化資源や地域資源などの自然環境を結ぶルートとして、上牧ささゆり回廊の中核としても重要な位置づけであるが、歩行者と自転車が混在し、夜間は照明もない区間もあり、舗装されている箇所も損傷が激しく、歩行者が安心して歩ける状態となっていない。本計画では、滝川の水辺空間を、町民が楽しみ、憩える場所・楽しく歩ける空間として活用することで、地域コミュニティの活性化・にぎわいの創出・健康増進を図るものである。  
 また、住民の交流促進による地域コミュニティの活性化には、周辺住民が徒歩や自転車、自動車などで容易に滝川にアクセス、往来できる必要があるが、道路ネットワークが未完成であるため幹線道路の渋滞発生によりあふれた交通が生活道路に流入して歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の低下を招いている。

- 課題**
- ・豊かな地域コミュニティの活性化に向けた、世代を超えた町民間が交流できる場の創出（滝川周辺の遊歩道、広場などの憩いの場の整備）
  - ・高齢者の健康づくりや生きがいづくりの促進に向けた仕組みづくり（滝川を安全・安心して楽しく歩ける空間整備）
  - ・滝川周辺の景観向上を図るとともに、自然豊かな水辺空間の活用（親水空間の整備、滝川周辺の全体的景観の改善）
  - ・歴史文化資源や地域資源の活用（かんまき笹ゆり回廊を活用した回遊性向上のための仕組みづくり）
  - ・滝川へのアクセス性の向上歩行者・自転車の交通安全性・快適性の向上（道路ネットワークの整備による安全で快適な交通環境の形成）

**将来ビジョン(中長期)**  
 「上牧町第5次総合計画」(平成29年4月)  
 ・かんまき笹ゆり回廊を将来都市構想における都市の骨格となる軸と位置づけている。  
 ・基本施策の環境保全分野では、景観緑化として、かんまき笹ゆり回廊整備計画の推進によって、やすらぎと憩いのある緑地空間の整備をしますとしている。また、公園緑地としてかんまき笹ゆり回廊において、公園、広場、ポケットパーク等の緑地空間を適切に配置しますとしている。  
 ・基本施策の魅力づくり分野では、歴史文化の活用としてかんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワークの整備に取り組みますとしている。  
 「上牧町都市計画マスタープラン」(平成21年4月)  
 ・都市づくりの目標として、かんまき笹ゆり回廊を水と緑の回廊に位置付け、自然や歴史とのふれあいの軸として形成を図りますとしている。  
 ・自然環境の保全及び都市環境形成の方針において、かんまき笹ゆり回廊の整備を図りますとしている。

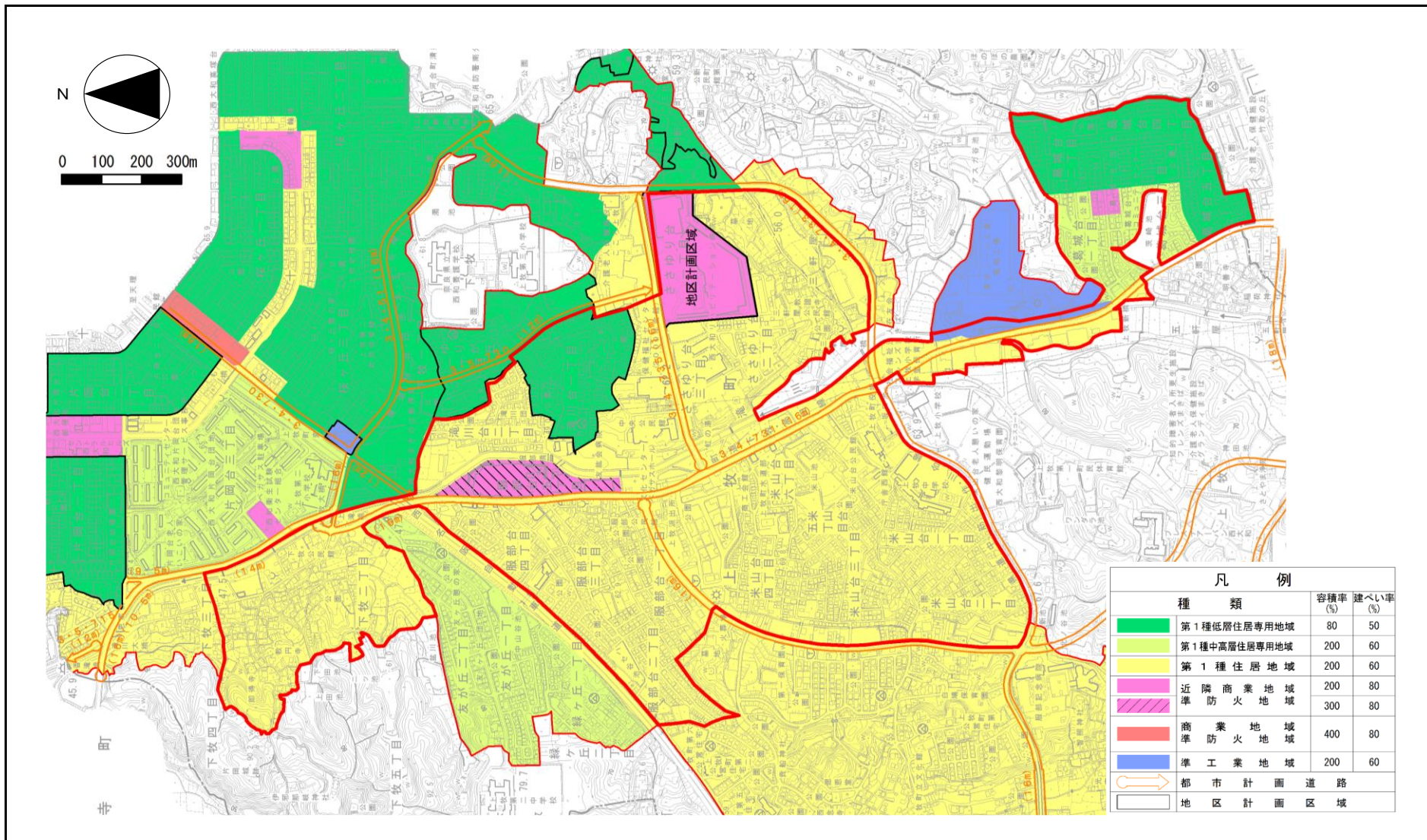
**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値			
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
滝川周辺の整備における住民の満足度	%	滝川周辺の整備に対して住民の満足度についてアンケート調査を実施する。	滝川周辺の整備により滝川に対する住民の満足度が向上したかを調査する。	14%	H27年度	50%	R4年度
滝川遊歩道利用者数	人	平日の滝川遊歩道利用者の合計数を計測する。	滝川周辺の整備により賑わいや交流の場が創出されたことで滝川遊歩道の利用者数が増加したか確かめる。	550人	H29年度	660人	R4年度
地域活動に参加している割合	%	地域活動に参加している割合についてアンケート調査を実施する。	滝川周辺の整備により地域コミュニティが活性化され、ボランティア活動の参加割合が増加したか確かめる。	38%	H27年度	40%	R4年度
交通事故件数	件	当地区における交通事故発生件数	道路ネットワークの整備により、安全で快適な交通環境の形成を図り、交通事故件数の減少を目指す。	14件	H29年度	8件	R4年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>①世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川遊歩道と一体となった東屋等休憩施設の整備を行い、地域住民の憩いの場となるオープンスペースの充実を図る</li> <li>・川辺に集う人々の活動拠点となるポケットパーク等の緑地空間整備を行い、くつろぎの空間・健康づくりの空間の創出を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 (地域生活基盤施設) 広場整備事業</p>
<p>②滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内を循環する「かんまき笹ゆり回廊」整備の一環として、滝川沿いにおいて身近に自然と触れることのできる快適でうるおいのある遊歩道を整備する。</li> <li>・滝川右岸を遊歩道、左岸を自転車道として分離し、歩行者と自転車の混在を解消する。</li> <li>・滝川沿いに親水施設の整備を行い、自然豊かな水辺の魅力向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 (高質空間形成施設) 自転車優先道整備、歩行者優先道整備 (地域生活基盤施設) 広場整備事業</p>
<p>③滝川周辺へのアクセス性の向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川へのアクセス性を高め利便性を向上させることで、地域住民の交流を促進する。</li> <li>・都市計画道路の整備により、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 (道路) 都市計画道路 服部台明星線整備</p>
<p>その他</p>	

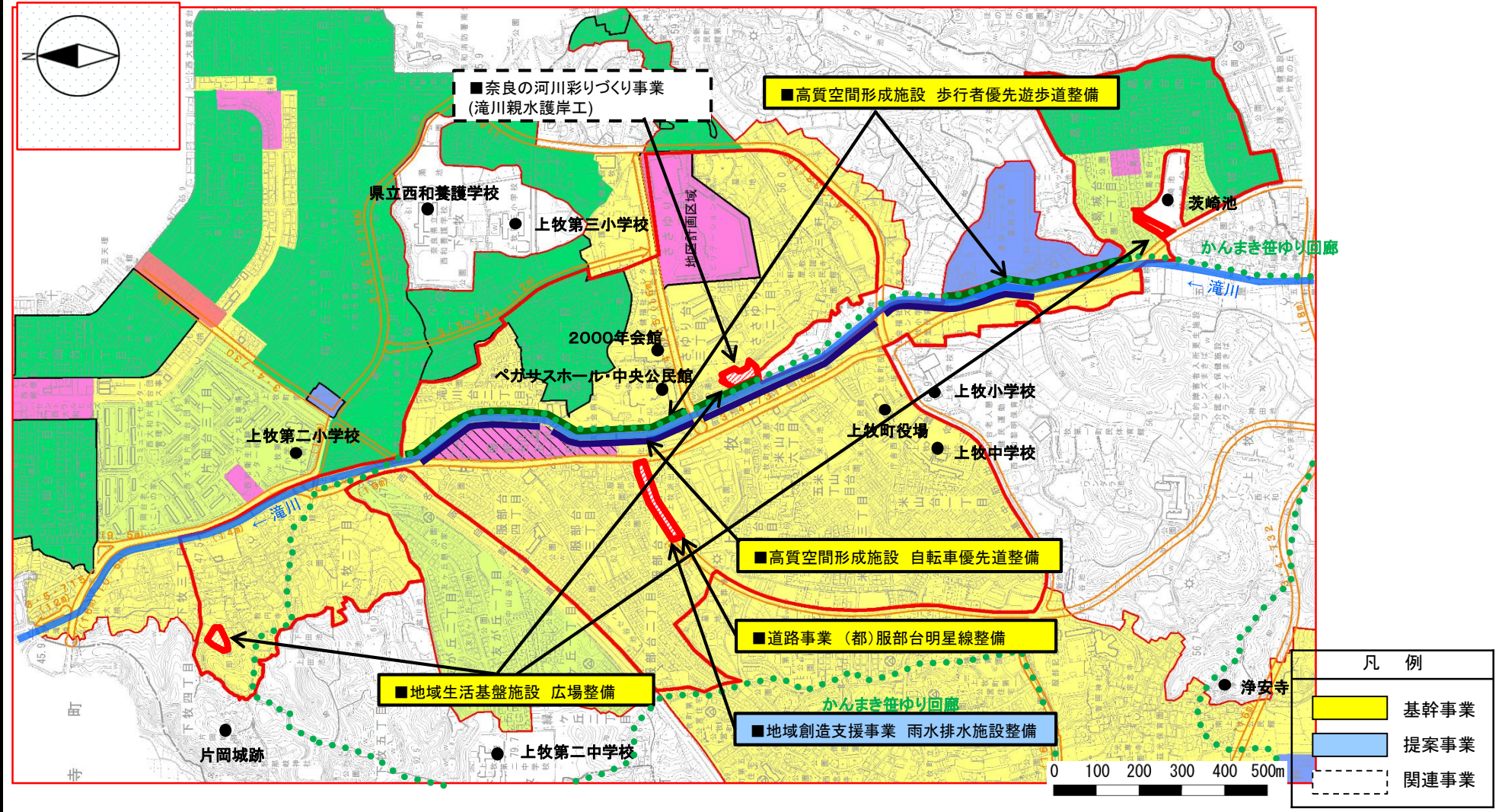


滝川水辺周辺地区(奈良県上牧町)	面積 150.6 ha	区域 葛城台1～5丁目、米山台1～6丁目、服部台1～5丁目、ささゆり台1～3丁目、滝川台1～2丁目の全部と上牧町大字上牧、下牧2丁目の一部(市街化区域内)
------------------	----------------	--



タキガワ ミズベ シュウヘンチク ナラケン カンマキ チョウ  
 滝川水辺周辺地区(奈良県上牧町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標 目標1: 世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。 目標2: 滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。 目標3: 滝川周辺へのアクセシビリティの向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。	代表的な指標	滝川周辺の整備における住民の満足度 ( % )	14% (H27年度) → 50% (R4年度)
		滝川遊歩道利用者数 ( 人 )	550人 (H29年度) → 660人 (R4年度)
		地域活動に参加している割合 ( % )	38% (H27年度) → 40% (R4年度)
		交通事故件数 ( 件 )	14件 (H29年度) → 8件 (R4年度)



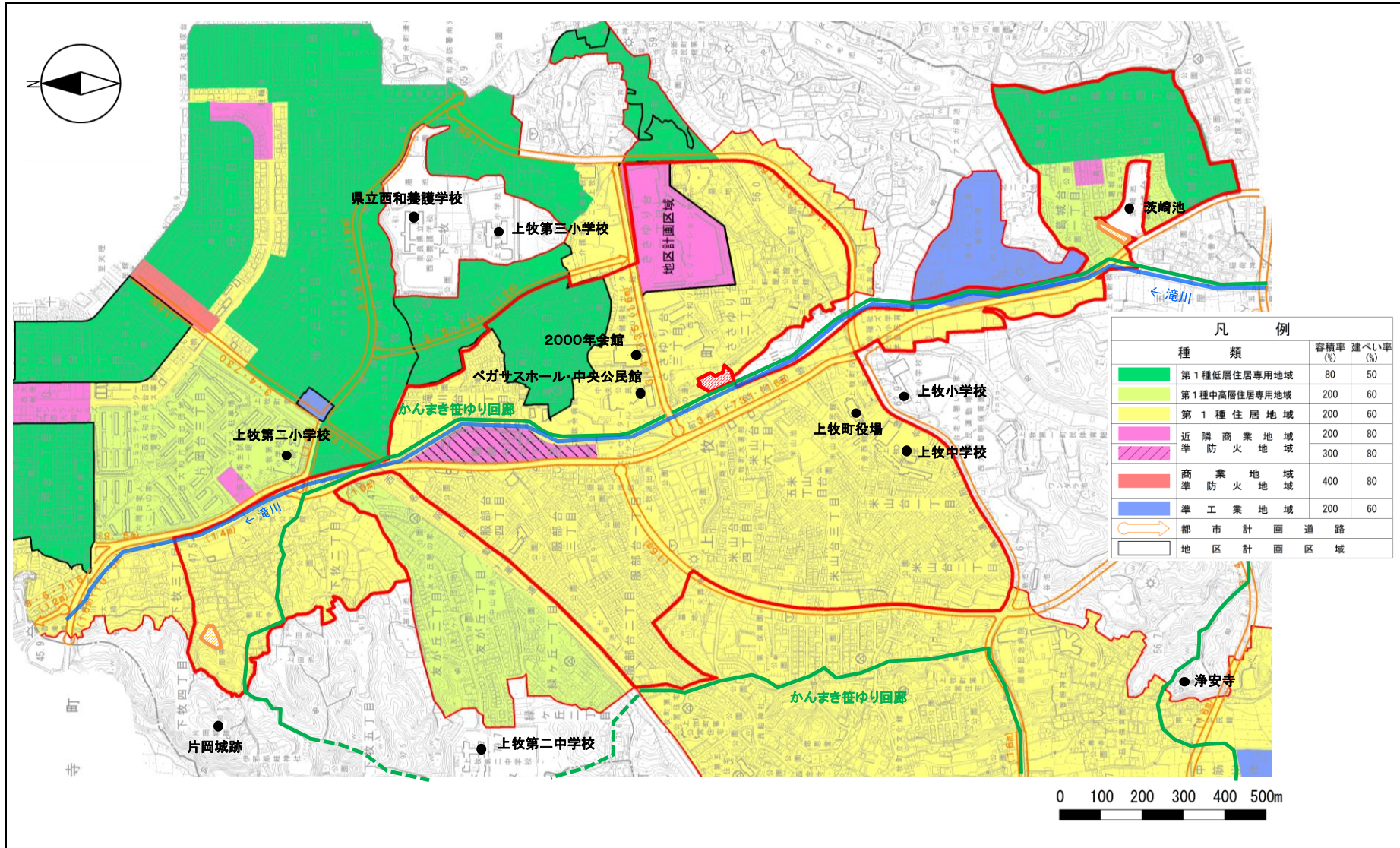
# 都市再生整備計画の添付書類等

## 交付対象事業別概要

たきがわ みずべ しゅうへん ちく      なら      かんまきちょう  
滝川水辺周辺地区（奈良県上牧町）

活用する事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	
コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
観光等地域資源活用支援型	<input type="checkbox"/>
経過措置	■
まちなかウォークアブル推進事業	
コンパクトシティ支援型	<input type="checkbox"/>
観光等地域資源活用支援型	<input type="checkbox"/>

滝川水辺周辺地区(奈良県上牧町) 現況図





交付限度額算定表(その1)

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	295.3 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	6,927.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	295.3 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

<b>Au</b>	602,400 m <sup>2</sup>
-----------	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m <sup>2</sup> )	1,506,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
その他の地域	0.40

<b>Ci</b>	0 円/m <sup>2</sup>
-----------	--------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/m <sup>2</sup> )	

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m <sup>2</sup> )	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

<b>Cf</b>	23,000 円/m <sup>2</sup>
-----------	-------------------------

<b>控除額</b>	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金都市再生整備計画関連事業とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m <sup>2</sup> )	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

<b>Ap</b>	0 m <sup>2</sup>
-----------	------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m <sup>2</sup> )	0

<b>個別公共施設の積み上げ</b>	
--------------------	--

	面積(m <sup>2</sup> )	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

<b>Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)</b>	6927 百万円
-----------------------------	----------

<b>ΣCn</b>	0 円
------------	-----

<b>下水道</b>	0 円
区域面積(m <sup>2</sup> )	1,506,000
うち現況の供用済み区域面積(m <sup>2</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	3,600

<b>地域交流センター等の公益施設(建築物)</b>	0 円
----------------------------	-----

上限床面積(m <sup>2</sup> )	9,400
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	380,000

<b>調整池</b>	0 円
------------	-----

調整池の容積(m <sup>3</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>3</sup> )	140,000

<b>河川</b>	0 円
-----------	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

<b>住宅施設</b>	0 円
-------------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

<b>市街地再開発事業による施設建築物</b>	0 円
-------------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m <sup>2</sup> )	
標準共同施設整備費(円/m <sup>2</sup> )	132,000

<b>電線共同溝等</b>	0 円
---------------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

<b>人工地盤</b>	0 円
-------------	-----

人工地盤の延べ面積(m <sup>2</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	5,300,000

<b>協議して額を定める大規模構造物等</b>	0 円
-------------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

<b>Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)</b>	6927 百万円
----------------------------	----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>

交付限度額(X1)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	295.3 百万円
-----------	-----------

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

# 交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

様式(2)-④-2

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

## 交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

### ○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	594.700	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	295.320	① (国費)
	提案事業合計(B)	143.600	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	330.389	② (国費)
	合計(A+B)	738.300	(事業費)	上記①、②の小さい方	295.320	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.195		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

### ○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]	※R1年度採択まで	(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充]		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	295.320	⑥ (国費)
				3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

### ○4)式の適用がある場合の事業費等

4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率※		⑧ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)	※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値			
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑨÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑩ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4)式適用後の限度額(⑧×F+⑩×H)	#DIV/0!	⑪ (国費)	

※都市再生整備計画事業の当初から4)式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

交付限度額	295.320	⑫ (国費)
-------	---------	--------

### ○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	738.3	(事業費)	交付要綱に基づく交付限度額(⑫を1万円の位を切り捨て)	295.3	⑬ (国費)
			国費率	0.400	⑭ (国費率)

年次計画(都市再生整備計画事業)

様式(2)-⑤-2  
(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
事業	細項目								
道路		都市計画道路 服部台明星線	上牧町	265.6	25.2	135.6		60.8	44.0
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		広場整備事業	上牧町	83.2	11.0			32.6	39.6
高質空間形成施設		歩行者優先道整備・自転車優先道整備	上牧町	245.9	22.4	36.9	65.6	121.0	
高次都市施設	地域交流センター								
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	ワーケーション拠点施設								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
エリア価値向上整備事業									
計				594.7	58.6	172.5	65.6	214.4	83.6

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業	雨水排水施設整備	-	上牧町	143.6				40.0	103.6
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				143.6	0.0	0.0	0.0	40.0	103.6
合計				738.3	58.6	172.5	65.6	254.4	187.2
累計進捗率 (%)					7.9%	31.3%	40.2%	74.6%	100.0%

事業		事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
事業	細項目								
合計				0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!



# 道路

単位:百万円

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長  m	幅員		整備後 車線数  車線	歩道 幅員  m	交付期間 内事業費	交付期間内事業費内訳			交付期間内 事業期間  (年度)	事業内容  <small>注3)</small>	都市計画 決定  年月	備 考  <small>注4)</small>
							整備前 m	整備後 m				設計費	用地費	施設整備費				
<道路>				-														
服部台明星線	～	街	上牧町	-	新設	200	-	16	2	3.5	265.6	-	160.8	104.8	H30～R4	W=16.0m、L=200m	H14年8月	
	～			-														
	～			-														
	～			-														
	～			-														

(参考)

<関連事業>																		

\* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

\* 不足する場合は適宜行を追加すること

## 高質空間形成施設

単位: 百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	規模 (箇所数、延長等)	概要 (整備内容等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント、給電・給排水施設、土塁、堀跡等)	自転車優先道整備 歩行者優先道整備	上牧町	自転車優先道 L=1,525m  歩行者優先道 L=1,737m	自転車優先道 カラー舗装3,976㎡、 街灯35基、柵1,582m  歩行者優先道 カラー舗装4,152㎡、 街灯42基	245.9	22.4		223.5	
電線類地下埋設施設									
電柱電線類移設									
地域冷暖房施設							—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等									
公共公益施設と一体的に整備する情報化基盤施設									
合計	—	—	—		245.9	22.4		223.5	

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

・「電線類地下埋設施設」は、備考欄に地中化の方式(自治体管路等)を記入。

・「緑化施設等」及び「電線類地下埋設」について、道路区域内で整備する場合は、備考欄に道路の都市計画決定の有無、道路の改築を伴うか否かを記入。

・「緑化施設等」について、施設名欄、概要欄に整備内容を具体的に記入。

・「電柱電線類移設」を実施する場合には、歴史的風致維持向上計画の当該事業が記載されている箇所及び都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね3分の2以上であることがわかる図面を添付してください。

・「緑化施設等」の土塁・堀跡について、次の3点がわかる内容の記入や資料の添付してください。

①文化財保護法第109条第1項の規定に基づく指定を受けた史跡でないこと。

②歴史まちづくり法第5条第8項の規定に基づく認定を受けた歴史的風致維持向上計画に位置付けられていること

③都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域の区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね2/3以上であること

## 地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	規模 (面積、幅員、 延長等)	概要 (整備内容等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費	施設整備費 うち購入費	
緑地								—	
広場	広場整備事業	上牧町	4,940㎡	健康器具5基、四阿2基	83.2	11.0	72.2	—	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤等									
分散型エネルギーシステム								—	
公共公益施設と一体的に整備する再生可能エネルギー施設等									
合計	—	—	—		83.2	11.0	72.2		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・駐車場には、共同駐車場、荷捌き駐車場、駐車場出入口付替等を含む。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

## 整備概要計画図 多世代交流広場(五軒屋地区)



### 【整備目的】

滝川遊歩道の始点に位置しており、茨崎池の自然を満喫しながら準備運動及びストレッチを行うことができる健康遊具や休息休養や待合せ等に利用できる四阿を設置した広場を整備する。

### 【整備内容】

健康器具5基、四阿1基を設置し、植栽等の整備予定。遊具の配置等については、今後周辺住民の要望を踏まえて検討を行う。

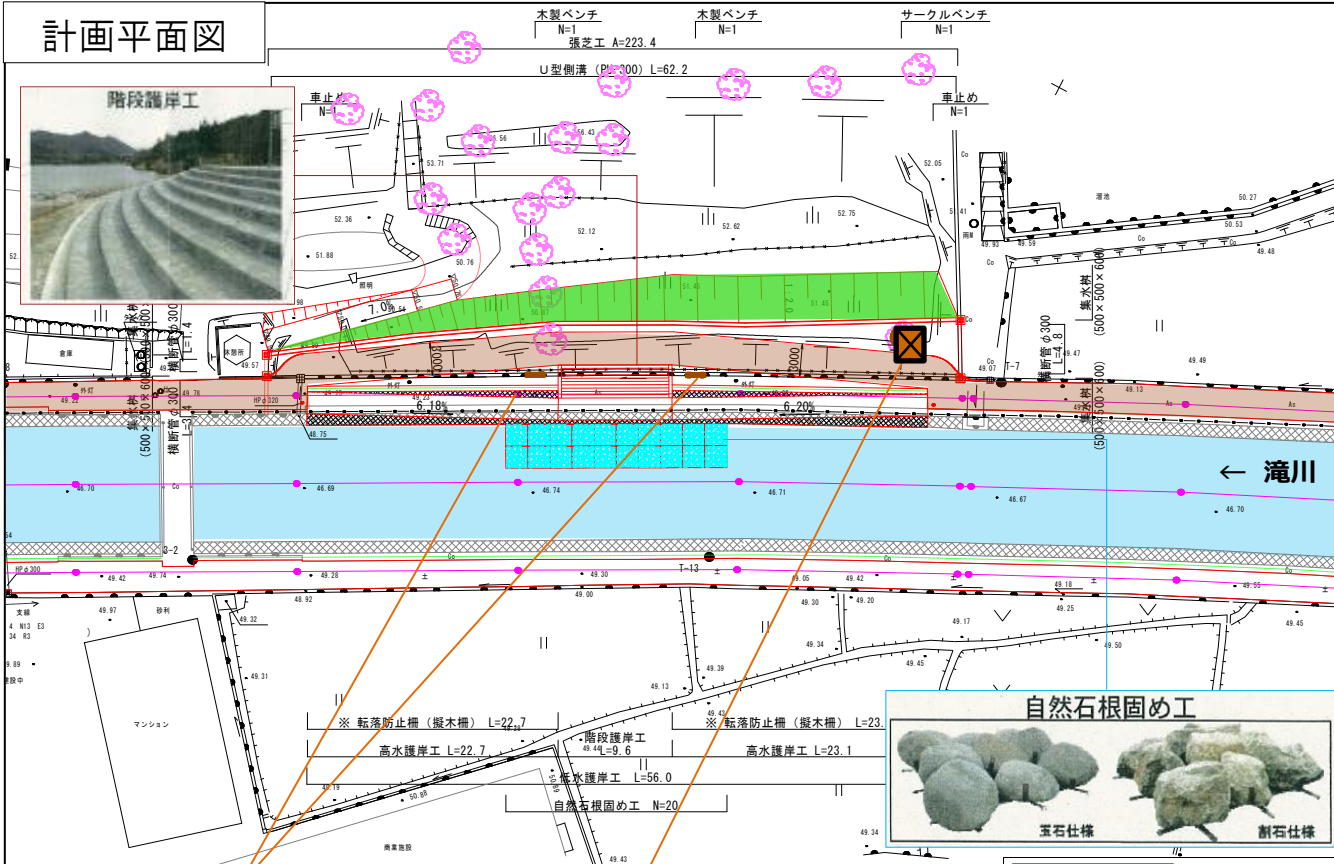
【公園面積】 A=約1,000㎡





# 整備概要計画図 いろどり広場(上牧地区)

計画平面図



**【整備目的】**

滝川遊歩道の中に位置しており、遊歩道と一体となった休憩施設の整備を行い、地域住民の憩いの場となるオープンスペースの充実を図る。親水施設の整備を行い、滝川の水辺魅力向上を図る。町有地において彩り植栽を行い、やすらぎ空間の充実を図る。

**【整備内容】**

四阿1基、木製ベンチ等2基設置。親水護岸工事は関連事業(河川彩りづくり事業)として整備。

**【公園面積】** A=約2,940㎡

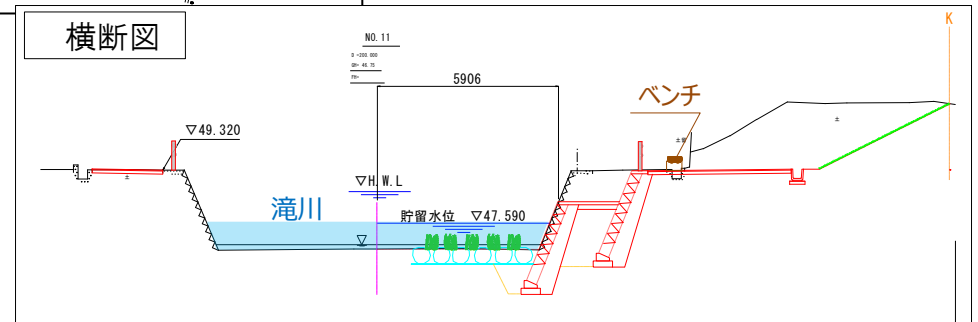


ベンチイメージ図



四阿イメージ図

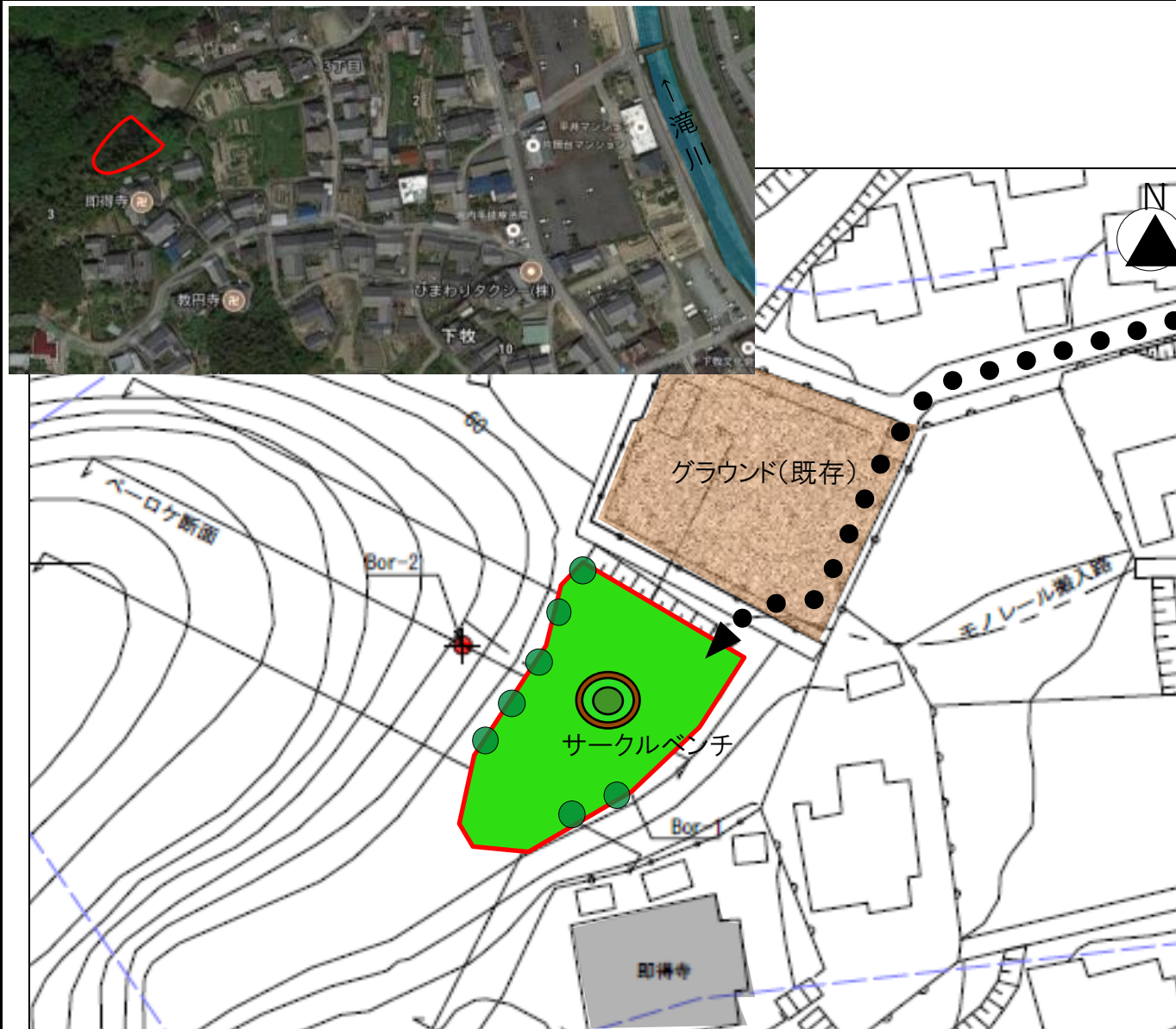
横断面図



## いろどり広場整備イメージ図



## 整備概要計画図 歴史広場(下牧地区)



### 【整備目的】

滝川遊歩道の終点に位置しており、片岡城跡の近くであることもあり、歴史を感じながら休息休養や待合せ等に利用できる四阿を設置した広場を整備する。ため池を埋めて誕生した広場は、災害時の防災拠点としても活用する。

### 【整備内容】

サークルベンチ1基を設置し、植栽等の整備予定。詳細については、今後周辺住民の要望を踏まえて検討を行う。

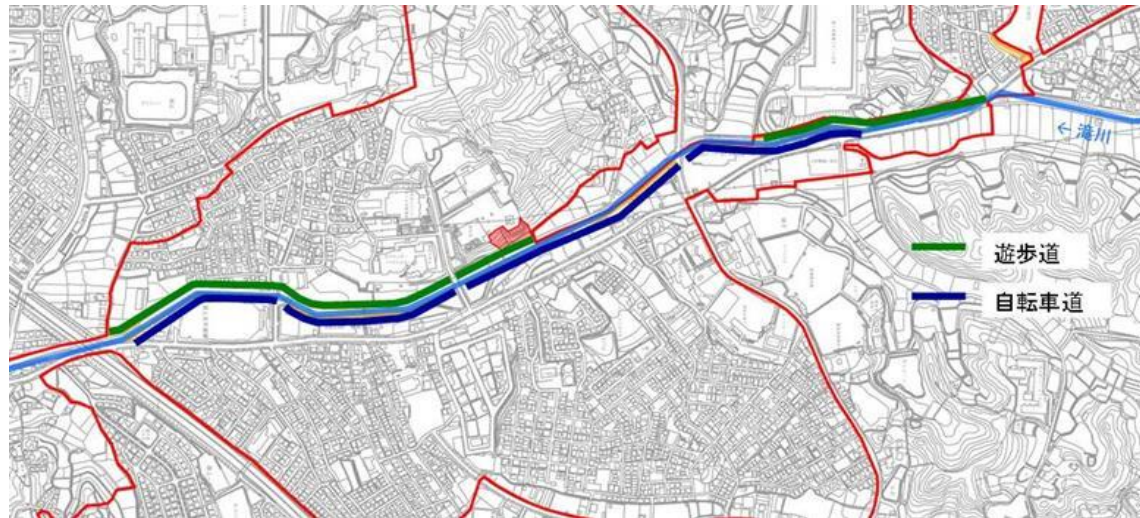
【公園面積】 A=約1,000㎡



サークルベンチイメージ図

# 整備概要計画図 滝川歩行者優先道・自転車優先道

平面図



## 【整備目的】

滝川の右岸に歩行者優先道、左岸に自転車優先道を整備し、歩行者・自転車の分離を図る。

## 【整備内容】

歩行者優先道整備として、カラー舗装4,152㎡、照明灯42基を整備予定。

自転車優先道整備として、カラー舗装3,976㎡、照明灯35基、柵1,582mを整備予定。

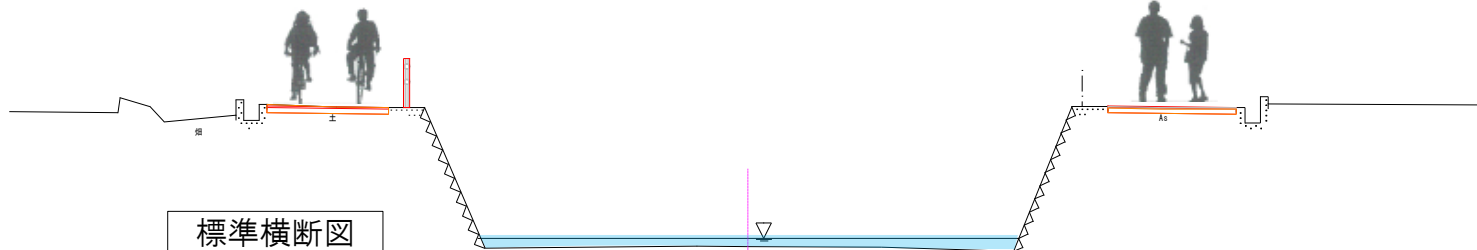
歩行者優先道 L=1,737m

自転車優先道 L=1,525m

自転車優先道  
(左岸)

滝川

歩行者優先道  
(右岸)



標準横断面図

# 整備概要計画図 都市計画道路 服部台明星線

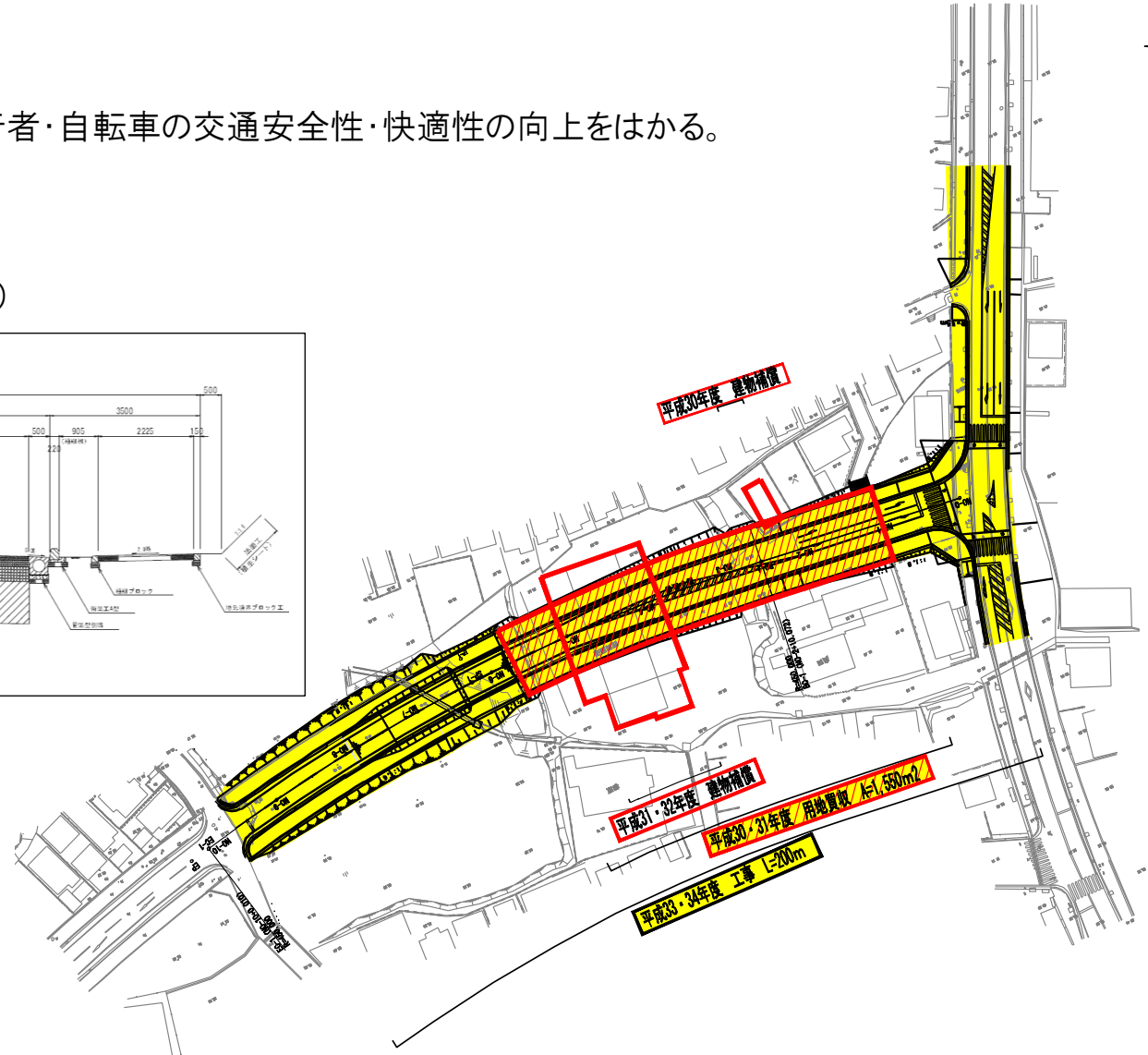
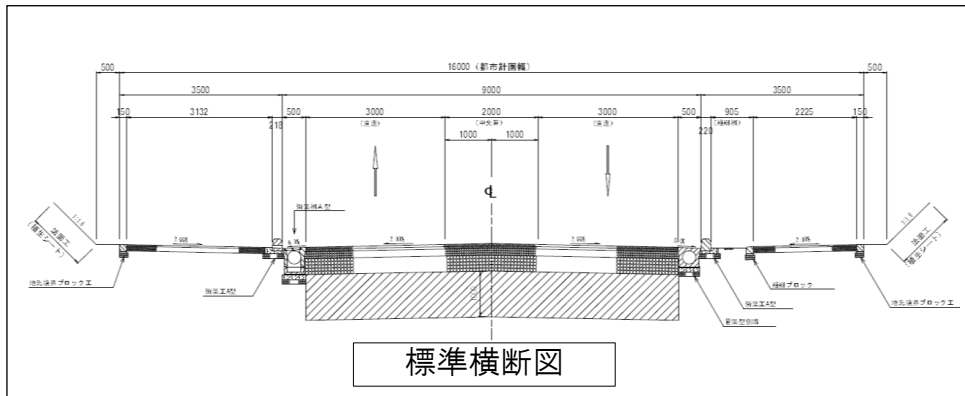
計画平面図

## 【整備目的】

滝川へのアクセス性の向上及び歩行者・自転車の交通安全性・快適性の向上をはかる。

## 【整備内容】

L=200m、W=16.0m（車線数：2）



整備概要計画図(雨水排水施設)

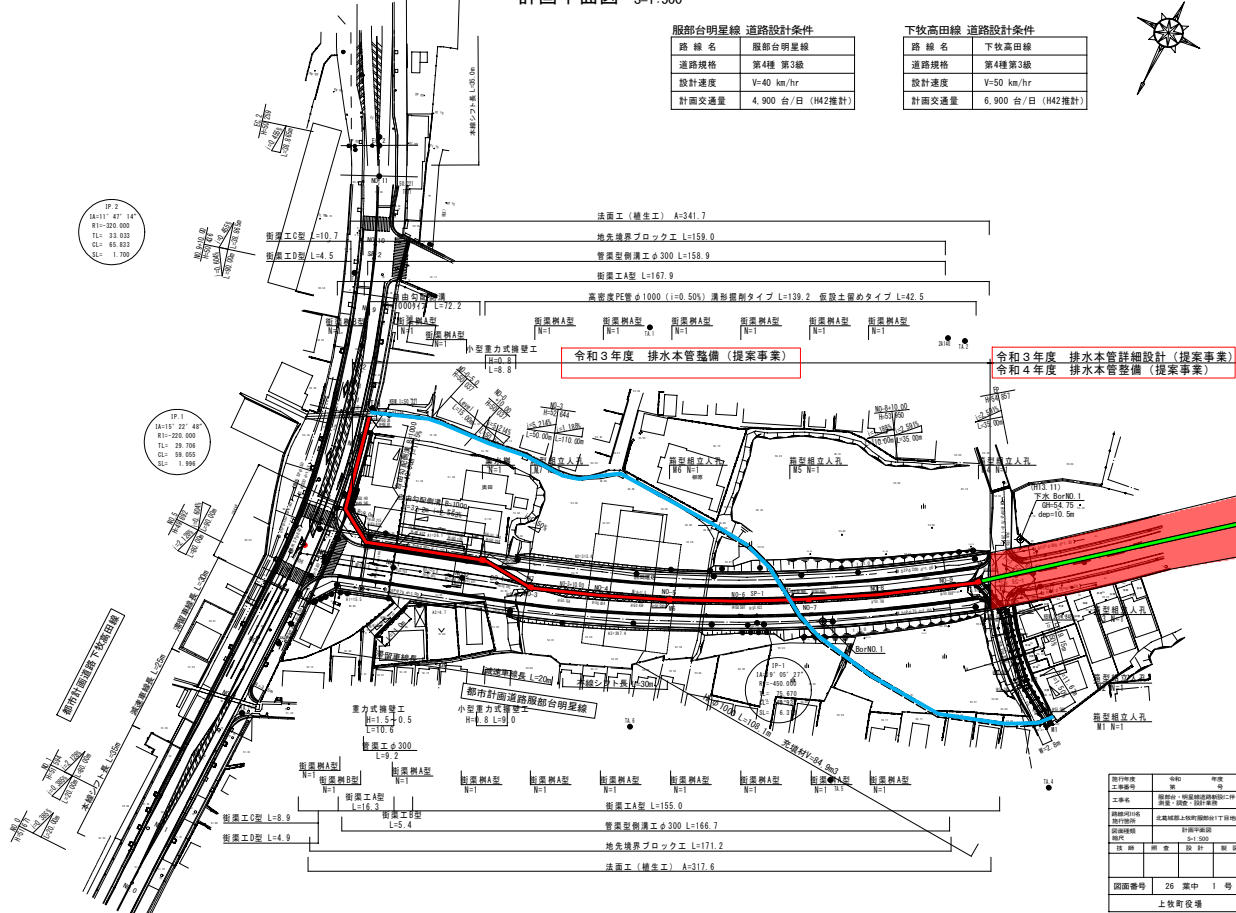
計画平面図 S=1:500

服部台明星線 道路設計条件

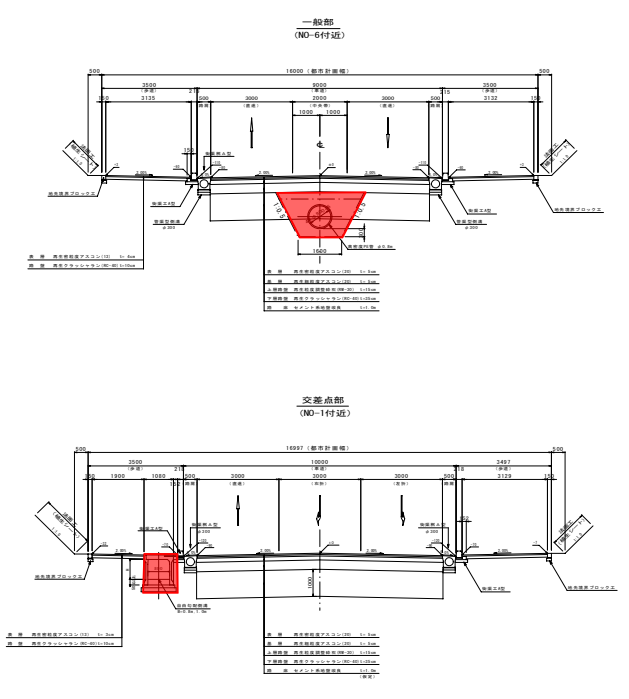
路線名	服部台明星線
道路規格	第4種 第3級
設計速度	V=40 km/hr
計画交通量	4,900 台/日 (H42推計)

下牧高田線 道路設計条件

路線名	下牧高田線
道路規格	第4種 第3級
設計速度	V=50 km/hr
計画交通量	6,900 台/日 (H42推計)



標準断面図 S=1:50



設計年度	令和	年度
工事番号	第	号
工事名	雨水排水施設整備(雨水貯留槽・雨水ポンプ)設計業務	
実施主体	北東建設(株)建設部(〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1)	
設計者	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	
縮尺	S=1:500	
図面番号	設	第
図面番号	26	案中 1号
上牧町役場		

地区名	滝川水辺周辺地区
事業主体	上牧町 施行面積 150.6ha